



XA568

シェイパー80フォーエアロベース 取扱説明書

はじめに

このたびは、INNOシェイパーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本品は車両のルーフに荷物を積載するためのINNOシステムキャリア用のアタッチメントです。この取扱説明書にはシェイパーの取付・使用方法が記載されています。

この取扱説明書をよく読んで理解してから本品を使用し、記載事項全てを必ず守ってください。
この取扱説明書は、必要なときにいつでも読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡してください。また、本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。




目次

はじめに.....	1	使用方法.....	13
安全にお使いいただくために.....	2	荷物を積載する.....	13
本書に記載する記号について.....	2	日常のお手入れ.....	14
必ず守ってください.....	2	保管方法.....	14
部品内容を確認する.....	6	各部の点検をする.....	14
使用工具を準備する.....	6	アタッチメントを保管する.....	14
使用前の確認.....	7	純正補修パーツのご案内.....	15
取付方法.....	7	お問合せ先.....	16
ベースキャリアを車両に取付ける.....	7		
ラックを組み立てる.....	7		
ラックをエアロベースバーに取付ける.....	10		

安全にお使いいただくために

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。

- | | |
|---|--|
|  警告 | 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。 |
|  注意 | 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。 |
|  参考 | 本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。 |

必ず守ってください

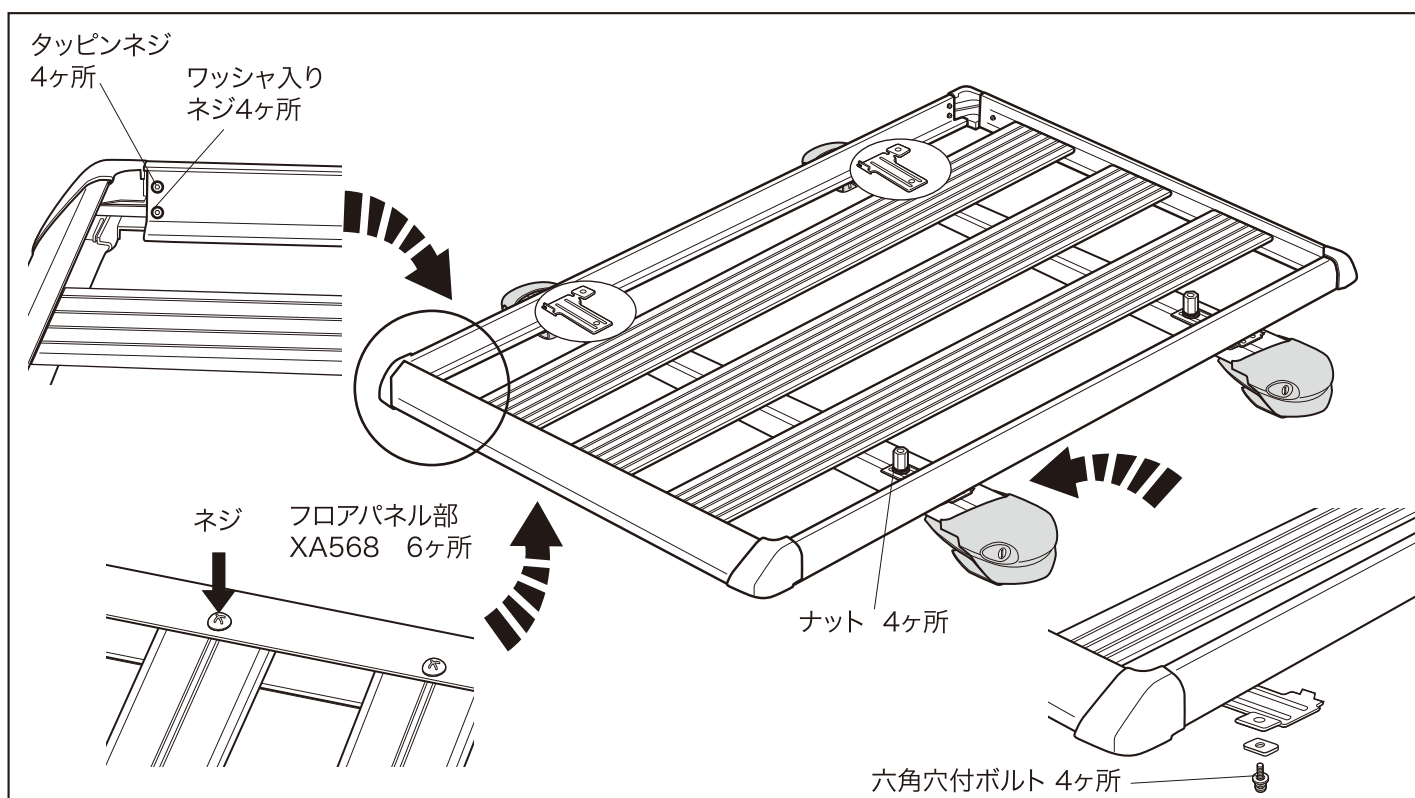
本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

警告

取付上および使用上の警告

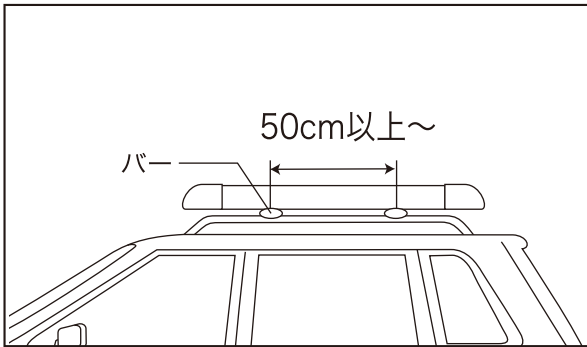
走行前に必ずネジ、ボルト、ナットにユルミがないか点検し、ユルミがある場合は増締めしてください。又、定期的に点検し、ユルミがある場合は、増し締めしてください。

ネジ、ボルト、ナットにユルミがあると、走行時の風圧・振動によりラックや積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



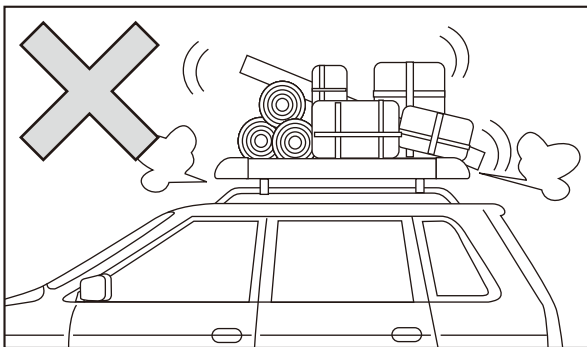
警告

取付上の警告



バーの前後間隔は、50cm以上とってください。
バーの前後間隔が狭い状態で取付けるとラックに無理な力がかかることによりラックや積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。
車種によりバーの前後間隔が指定されている場合は指定された寸法で取付してください。

使用上の警告



最大積載量を超えた積載はしないでください。
最大積載量は、ラックと車種の組合せで異なります。車種別適合表をご確認ください。
最大積載量の算出方法は下記をご覧ください。
最大積載量を超えた積載をすると、ラックおよび車両取付部に無理な力がかかりラックが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

最大積載量の算出方法

(キャリアにラックのみを装着している場合)

ラックの許容積載量
XA568
(50kgを超えない範囲)

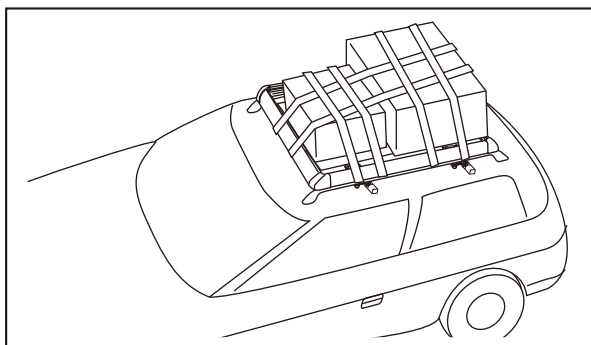
=

車種ごとの
最大積載量

-

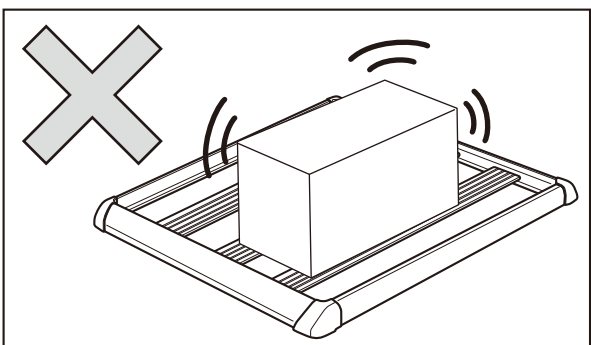
ラックの本体重量
XA568 6.7kg

使用上の警告

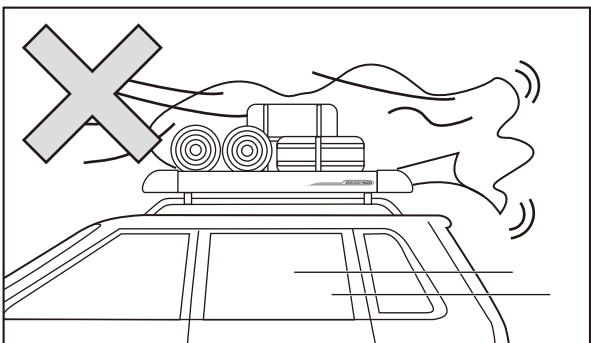


積載物は必ずベルトやネット、ロープ等で確実に固定してください。

特に高速走行や10kg以上の重量物を積載する場合は、風圧や発進・停止時に積載物に無理な力がかかります。必ずベルトを使用してください。

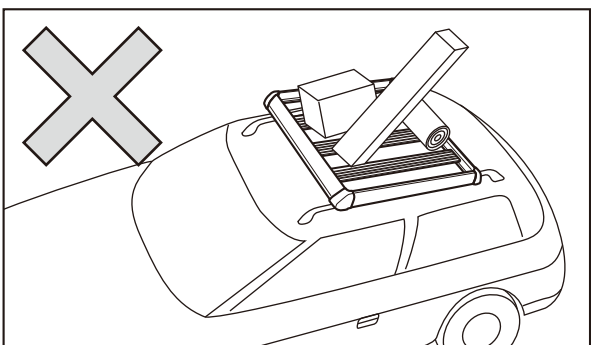


積載物が確実に固定されていないと走行中に積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



防水シート等を使用する場合はシート等がばたつかないように、走行前に必ずベルトやネット、ロープ等で確実に固定してください。

防水シート等がばたついた状態で走行すると、走行時の風圧により積載物やラック、キャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

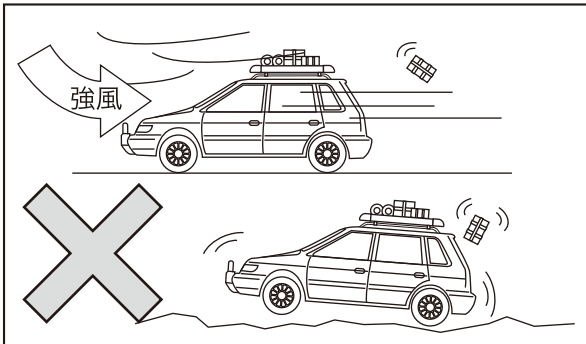


積載物は平らで均等に積載してください。高く重ねたり、偏った積載、斜めの積載はしないでください。

平らで均等に積載しないと、走行時の風圧や遠心力により積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

⚠ 注意

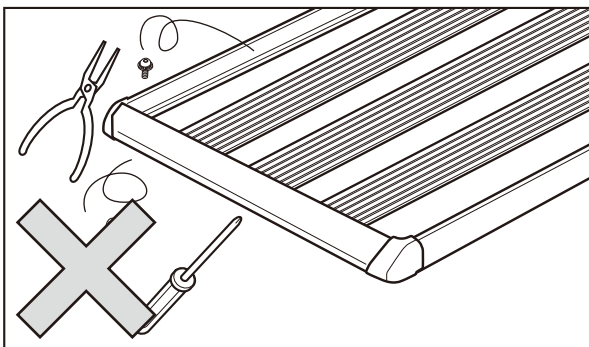
使用上の警告



法定速度を守り、強風や悪路では速度を落として走行してください。

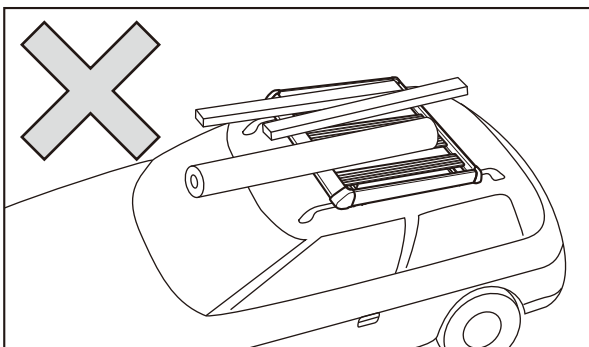
法定速度を超えた連続高速走行、強風時の連続走行、悪路走行、衝撃の強い段差越えをするとナットやネジ、ボルトのユルミによりラックやキャリア、積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

使用上の注意



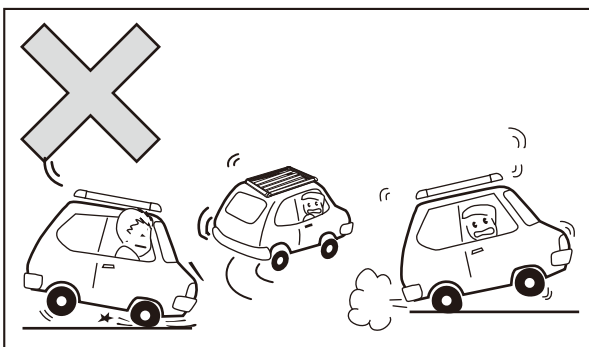
本品を改造してのご使用はおやめください。

改造して使用すると、確実な固定ができず、ラックや積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



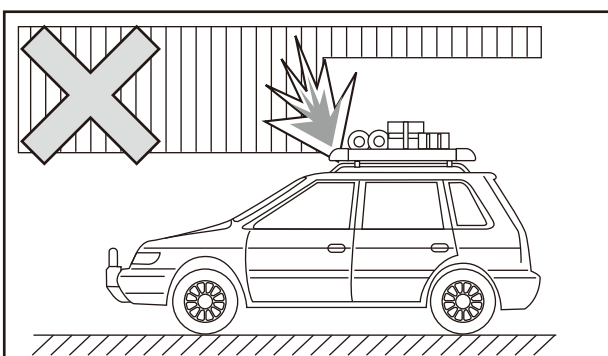
ラックよりはみ出す物は積載しないでください。

ラックよりはみ出す物を積載するとフロント・リアパネル、サイドパネルに無理な力がかかり変形、破損のおそれがあります。



ラックおよび積載物によって車両の重心が高くなるため、急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けて走行してください。また、やむを得ず無理な走行をした場合、必ずキャリアや積載物の取付状態を点検してください。

積載時に急発進、急ハンドル、急ブレーキをすると、キャリアやアタッチメントの取付位置がずれて車両や製品、積載物が損傷するおそれがあります。



ラックを装着すると車高が高くなるので、走行中は車両の上方向の障害物には十分注意してください。

誤ってラック及び積載物をぶつけた場合は必ずラック、キャリア、積載物の取付状態の点検を行ってください。

部品内容を確認する

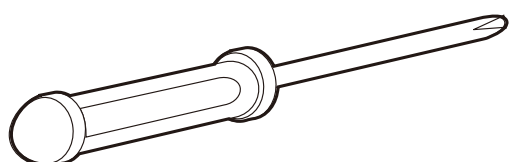
本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。



No.	部 品	数 量
①	フロント・リア (共通) パネル	2
②	サイドパネル (左右共通)	2
③	フロアパネル	3
④	取付金具	4
⑤	四角ボルト	4
⑥	スペーサー	4
⑦	ナット	4
⑧	スプリングワッシャ	4
⑨	ゴムキャップ	4
⑩	ナットプレート	4
⑪	六角穴付ボルト	4
⑫	タッピングネジ(大) (フロアパネル固定用)	6
⑬	タッピングネジ(小)	4
⑭	ワッシャ入りネジ	4
⑮	ゴムシート	6
⑯	スパナ(10mm)	1
⑰	六角レンチ (B=4)	1
⑱	取扱説明書	1

使用工具を準備する

本品の組立てには、プラスドライバーが必要です。

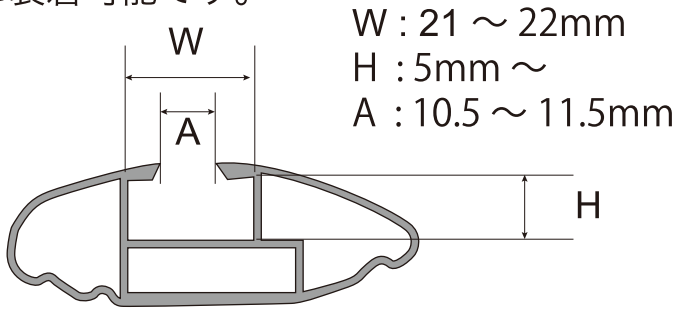


参考

プラスドライバーはネジの ⊕ ミゾに合うものを準備してください。

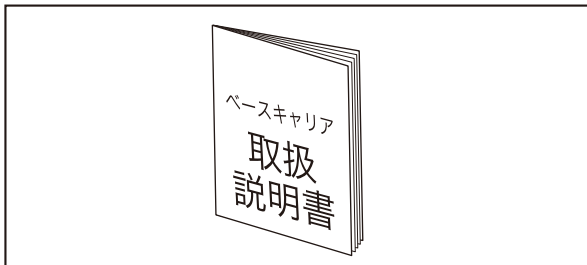
使用前の確認

本品はINNOエアロバーの他、Tスロット寸法が下記寸法に適合する純正クロスバーに装着可能です。



取付方法

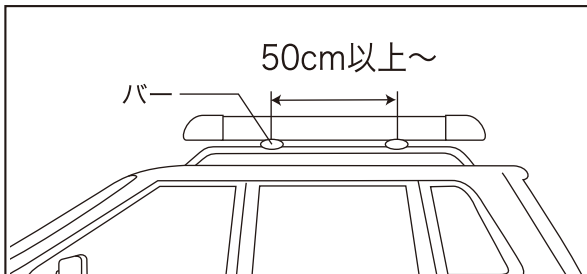
ベースキャリアを車両に取付ける



ベースキャリアの取扱説明書に従って正しく取付ける。

⚠注意

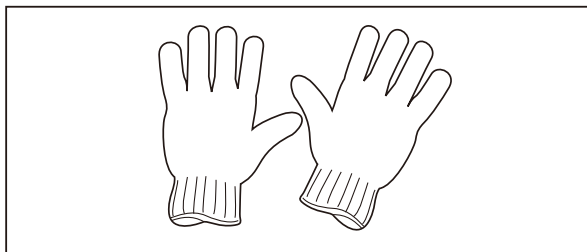
本品を装着するベースキャリアについては、十分な強度があることを確認し、確実に取付けてください。



バーの前後間隔は、50cm以上とってください。

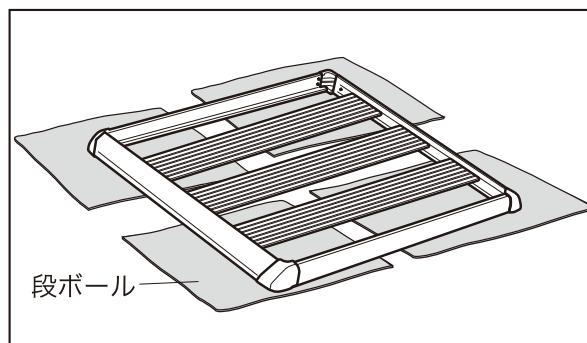
車種によりバーの前後間隔が指定されている場合は指定された寸法で取付してください。

ラックを組み立てる



⚠注意

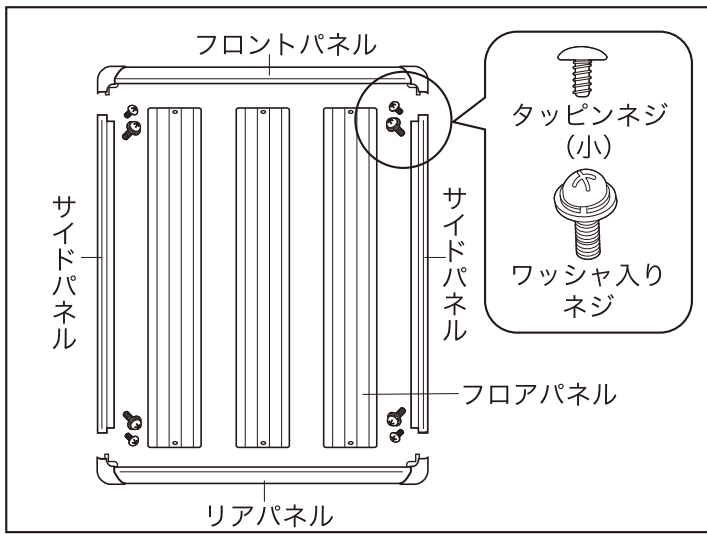
組立の際は必ず軍手・手袋を使用してください。アルミ端面で手や指を傷つけるおそれがあります。



📖参考

組立作業は、平らなところにダンボール等を敷いて、行ってください。

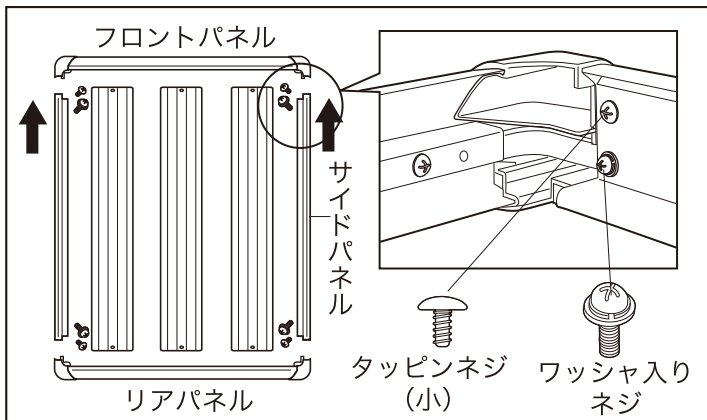
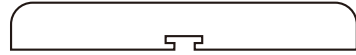
地面で直に行うと、製品が傷つきます。



1 本体、部品の数を確認後、図のようにフロント・リアパネル、フロアパネル、サイドパネル、ネジ、を置いておく。

参考

フロアパネルは、滑止め面が上面で、センターに凹がある面が下面になります。

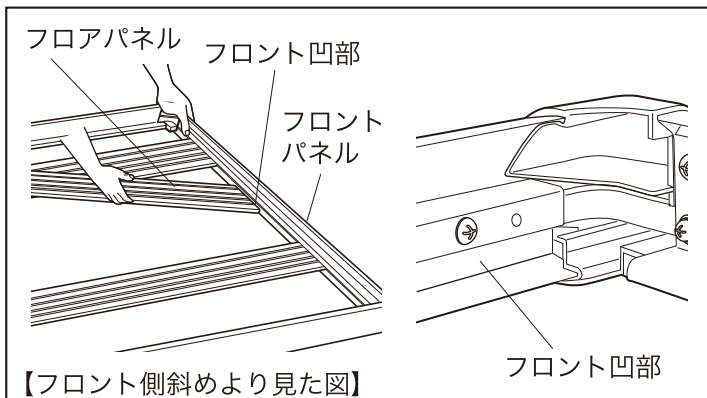
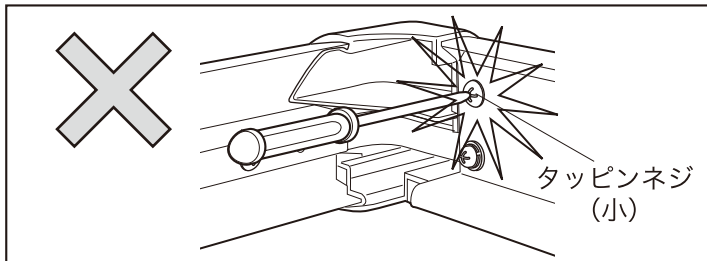


2 フロントパネルと、サイドパネルを組む。
フロントパネルにサイドパネルをはめこみ、上側をタッピンネジ (小) ・下側をワッシャ入りネジで固定する。

(この作業は、この時点でフロントパネル)
左右2ヶ所のみ行う。

注意

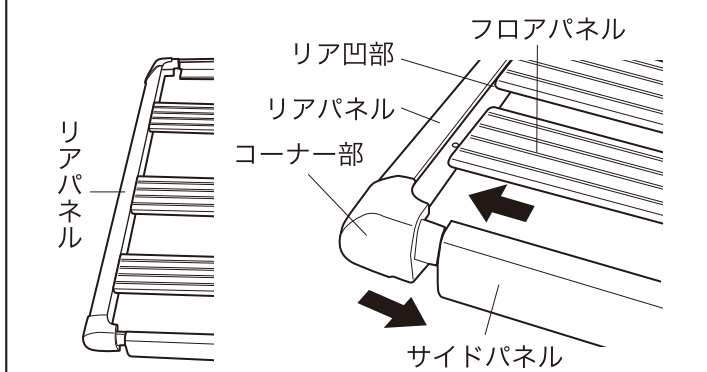
フロントパネルにサイドパネルを固定するとき、上側のタッピンネジ (小) をきつく締めすぎると、ネジが破損し、締めつけられなくなります。締めすぎに注意してください。



3 フロアパネルを仮置きする。
フロントパネルの内側にある凹部にフロアパネルをのせておく。

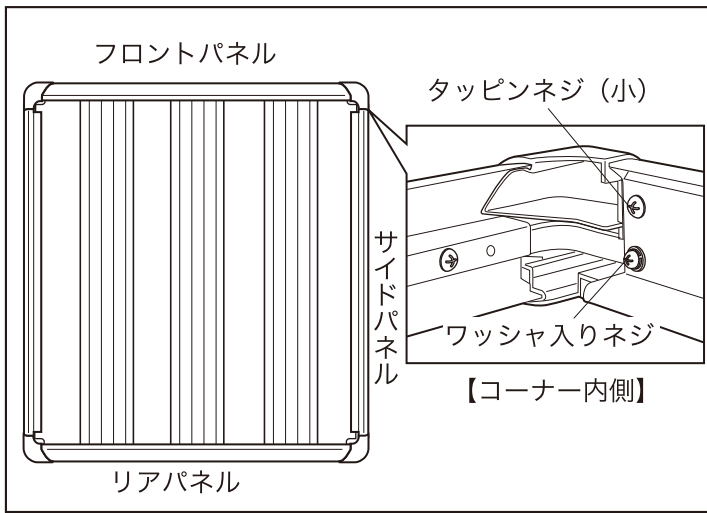
参考

フロアパネルは、滑止め面が上面で、センターに凹がある面が下面になります。



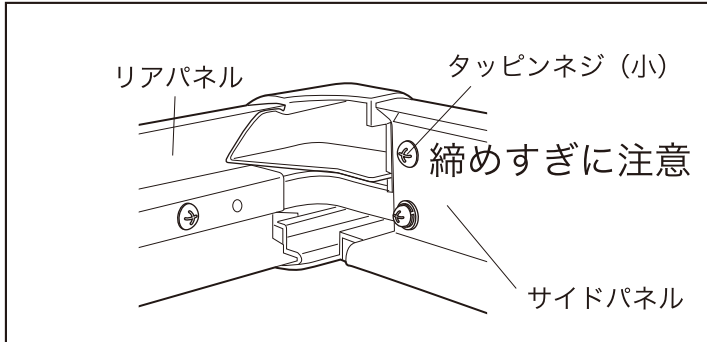
リアパネルも同じように内側にある凹部にフロアパネルをのせ、そのままフロアパネルを落とさないようにコーナー部をもちながら、リアパネルをサイドパネルにはめこむ。

(リアパネルとサイドパネルのはめこみは、)
左右2ヶ所行う。



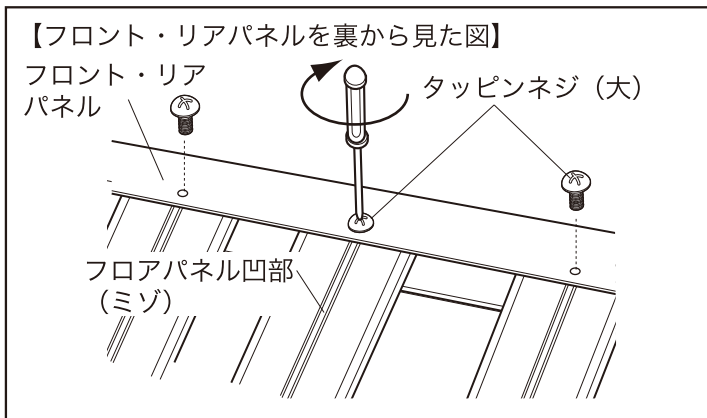
リアパネルとサイドパネルをフロントパネルと同様に、上側タッピンネジ (小)・下側はワッシャ入りネジで固定する。

(この作業をリアパネル左右2ヶ所行う。)



注意

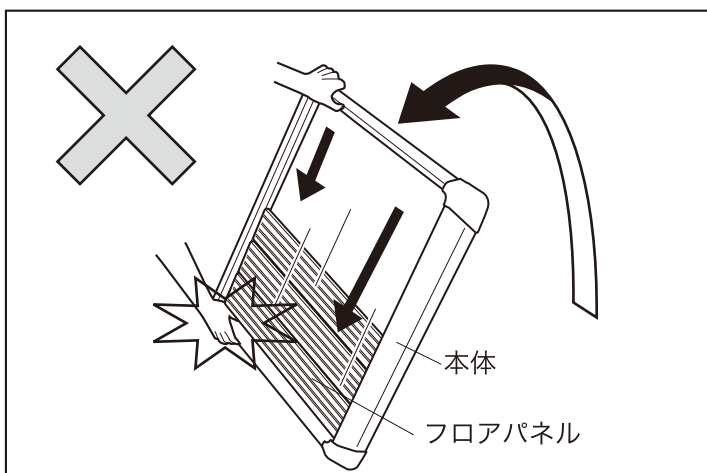
サイドパネルとリアパネルを固定するとき、上側タッピンネジ (小) をきつく締めすぎると、ネジが破損し、締めつけられなくなります。締めすぎに注意してください。(フロント・リア (共通) パネルの左右2ヶ所ずつ計4ヶ所あります。)



4 本体を裏返しにし、フロアパネルの凹部 (ミゾ) とフロント・リアパネルのネジ穴を合わせ、タッピンネジ (大) で計6ヶ所固定する。

注意

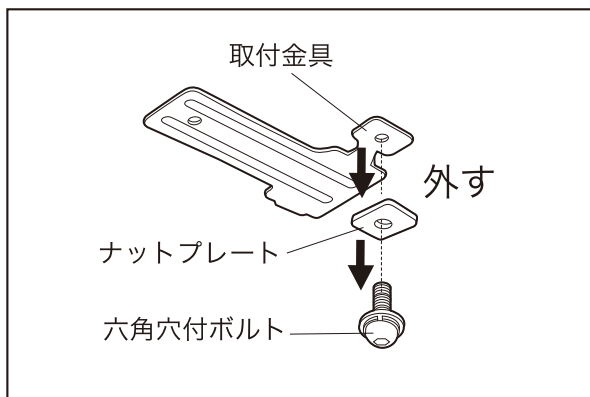
タッピンネジ (大) が斜めにならないように締めつけてください。



注意

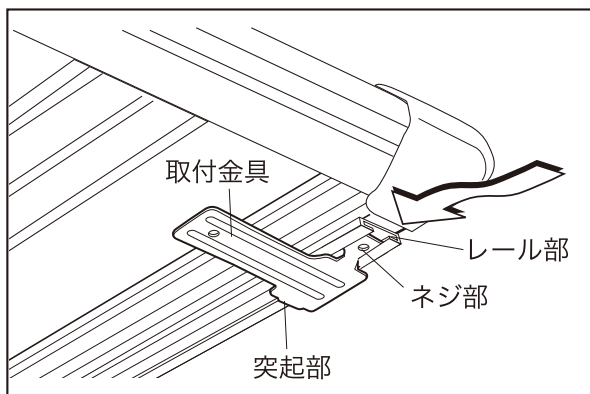
本体を裏返すとき、左図のような向きで行うと、手をはさんでしまうおそれがあります。フロアパネルの縦方向に合わせて裏返してください。

ラックをエアロベースに取付ける



すべての作業は前後、左右の4ヶ所行う。

1 取付金具から六角穴付ボルトとナットプレートを外す。

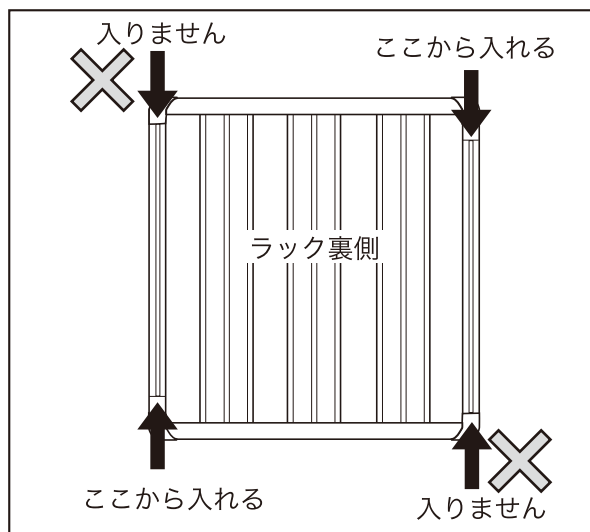


2 取付金具をサイドパネルの内側に向くように突起部とネジ部をサイドパネルのレール部に入れる。

(この作業をサイドパネル2ヶ所ずつ、左右計4ヶ所行う。)

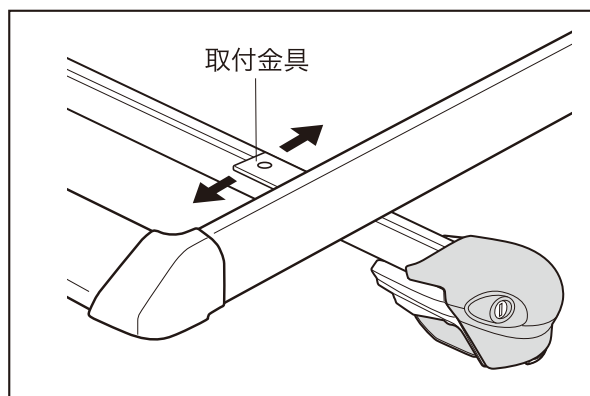
注意

取付金具は突起部よりレール部に入れてください。ネジ部からは入れることはできません。

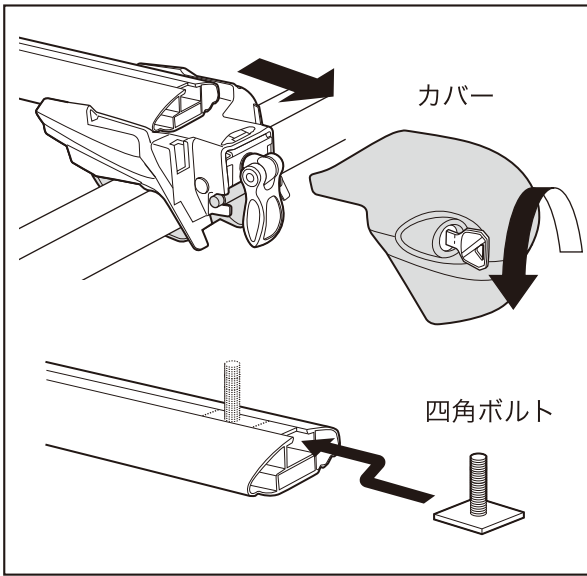


注意

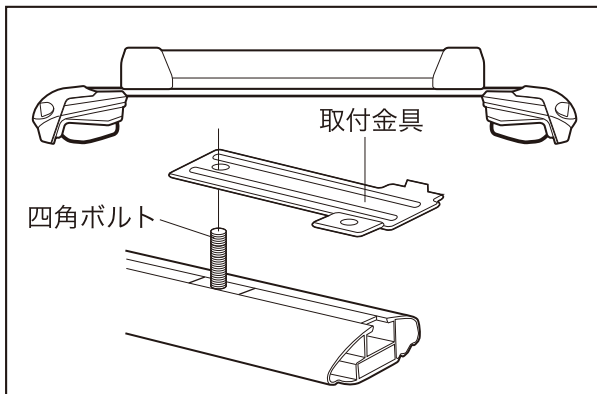
取付金具は必ずサイドパネルの内側に向くように入れてください。外向きに取付けると変形します。



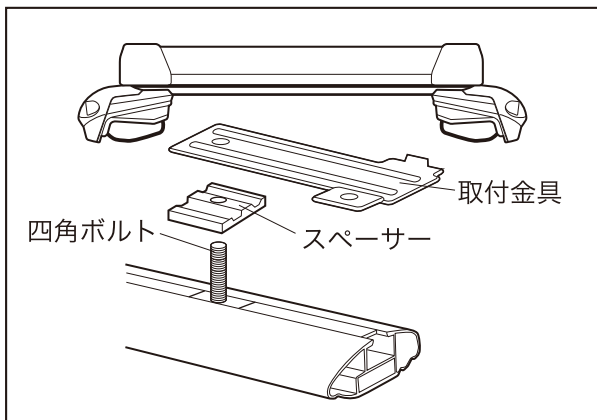
3 ラックの位置を決め、取付金具がバーの上にくるようにスライドさせ調整する。



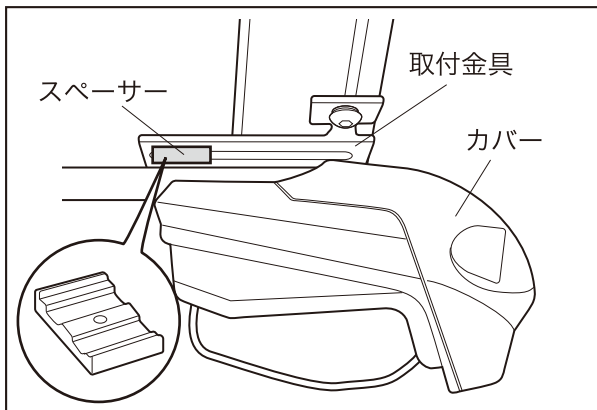
4 ベースにカバー等がある場合は外して、四角ボルトをTスロットに通し、再度カバーを取付け、ロック付の場合はロックする。

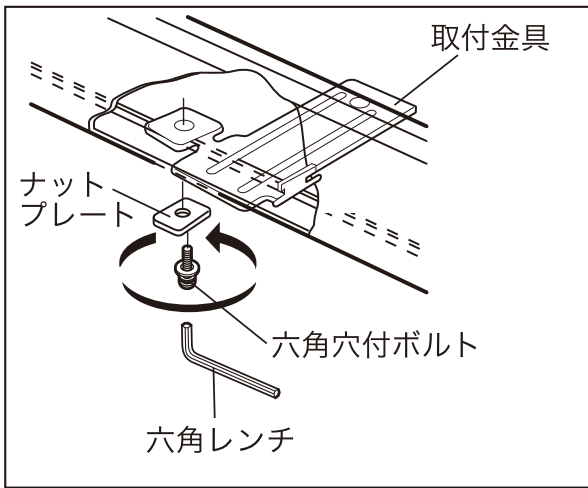


5-A ベースのカバーの上にラックのサイドパネルが載らない場合、ラックを持ち上げて四角ボルトをスライドさせて取付金具の穴に通す。



5-B ベースのカバーの上にラックのサイドパネルが載る場合、ラックを持ち上げて四角ボルトをスライドさせてスペーサーのゴム部を下側にして穴に通し、取付金具の穴に通す。この時、スペーサーと取付金具の凸凹を合わせる。





6 取付金具ナットプレート、六角穴付ボルトで ロックが変形しない程度に固く締め付ける。

⚠ 注意

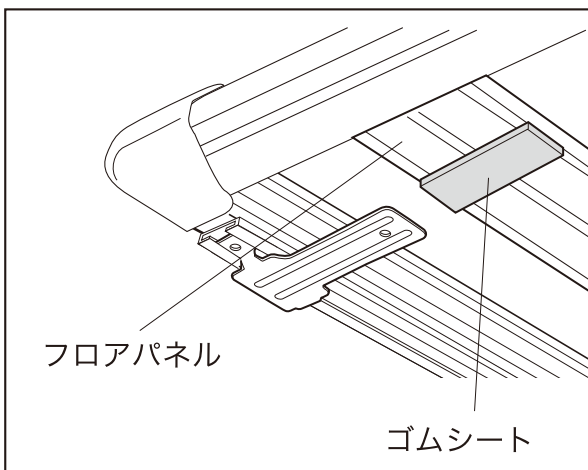
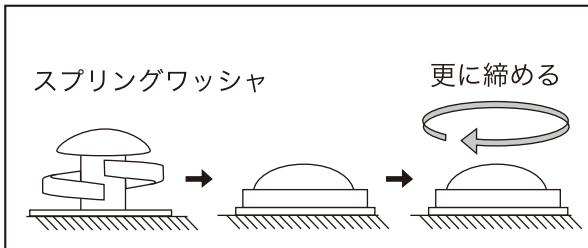
ナットプレートはタテとヨコの長さが違います。正しく取付けないと、サイドパネルやナットプレートが変形するおそれがありますので、向きに注意してください。

⚠ 注意

六角穴付取付ボルトは、スプリングワッシャが平らになるまで締込んでください。さらにロック本体のナットプレートが変形しない程度（2回転ぐらい）に硬く締付けてください。締付けトルクの目安は $4[\text{N}\cdot\text{m}]$ ($40 [\text{kgf}\cdot\text{cm}]$) です。

📖 参考

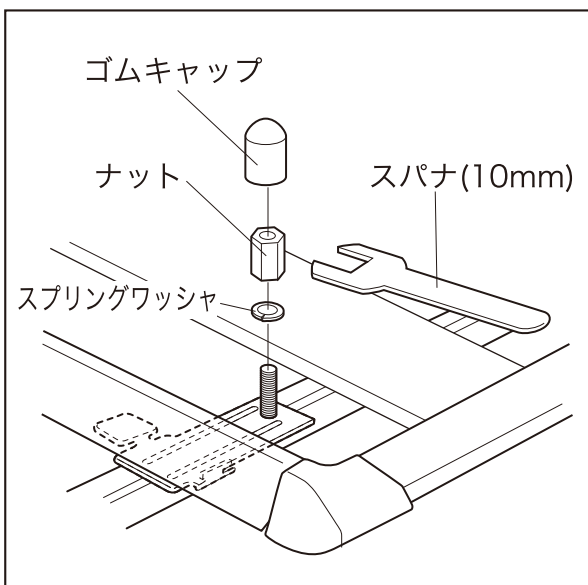
カバー等と干渉して六角レンチが入らない場合は一度ロックを持ち上げて、締め付けてください。



7 フロアパネルとバーが干渉する部分にゴムシートをフロアパネルの裏側に貼る。

📖 参考

ゴムシートを貼らないとバーに傷が付いたり、カタカタ音が発生する場合があります。再取付する場合は同じ位置にエアロベースを取付けてください。



8 四角ボルトにスプリングワッシャを通し、ナットを取付けて付属のスパナで締め付ける。

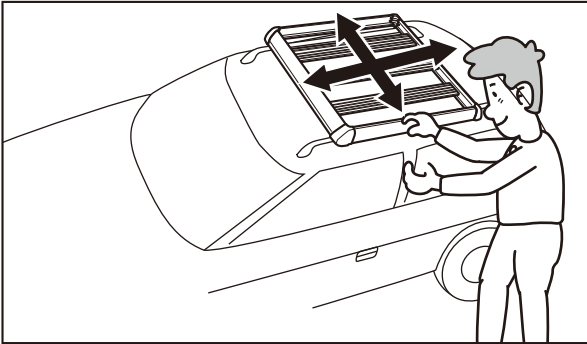
⚠ 注意

ナットは、スプリングワッシャが平らになるまで締込んでください。締付けトルクの目安は $2[\text{N}\cdot\text{m}]$ ($20 [\text{kgf}\cdot\text{cm}]$) です。

9 ナットにゴムキャップを奥まではめる。

使用方法

荷物を積載する



- 1 荷物の積載の前、走行前に必ずラックを前後・左右・上下にゆすり、ナットやネジ、ボルトのユルミによるガタツキがないか、バーに確実に固定されているかどうかを確認する。

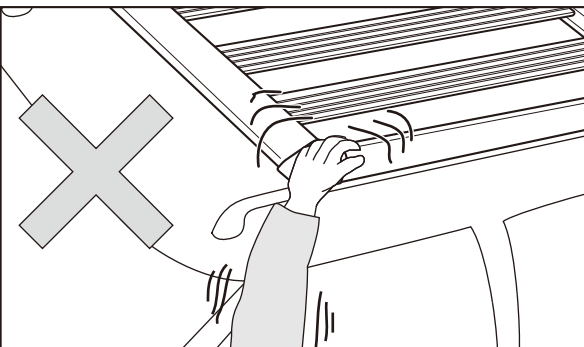
荷物の重量が最大積載量を超えていないか確認する。

⚠️ 注意

コーナー部の樹脂に、ネットのフックを掛けたり、無理な力を加えないでください。

📖 参考

積載物によりパネルについたキズが目立つ場合があります。

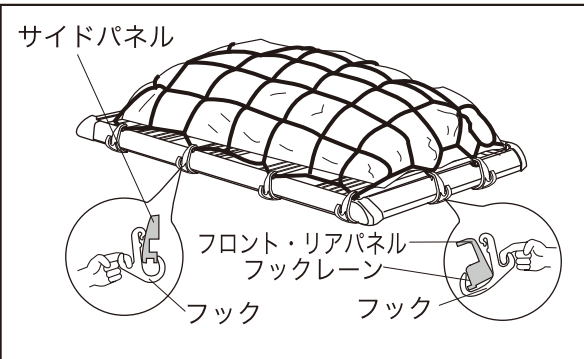


⚠️ 注意

フロアパネルに、ネットのフックを掛けしないでください。

📖 参考

荷物を固定するネットのフックは、サイドパネルの場合には下側全体にかけ、フロント・リアパネルの場合はフロアパネル間に深くかけてください。

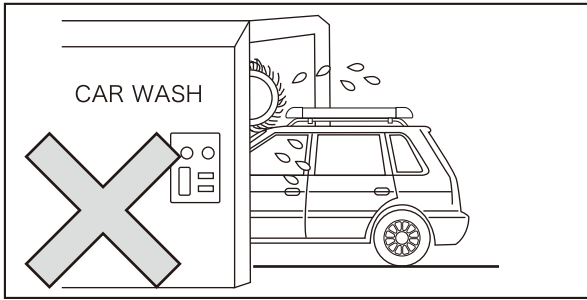


※ネットは別売です。

XA568 80サイズには IN516-5カーゴネット(M)がおすすめです。

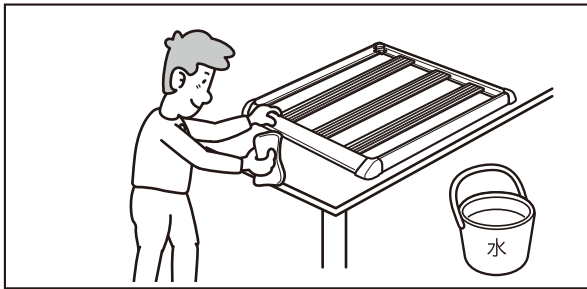
重量物積載の際はベルトを使用してください。IN717-5(4m)等がおすすめです。

日常のお手入れ



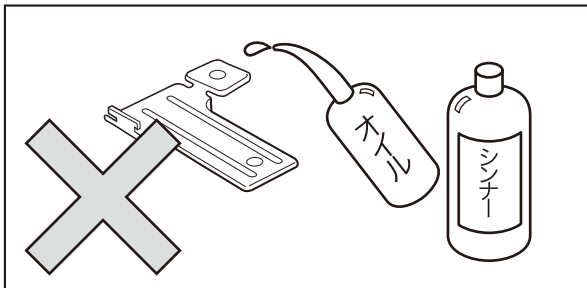
⚠ 警告

洗車機にかける時は、キャリアを取外してください。誤って、キャリアを取付けたままで洗車機にかけた場合は、必ずキャリアの取付状態を確認してください。



1 水で泥汚れを落とす。

2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

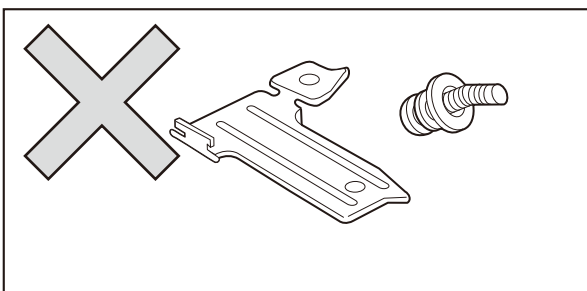


📖 参考

- シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- ネジやボルトへの給油はしないでください。

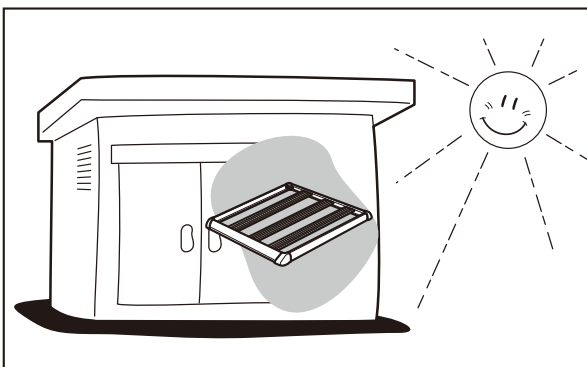
保管方法

各部の点検をする



1 キャリアを清掃し、各部に異常がないかを点検する。

アタッチメントを保管する



1 直射日光の当たらない乾燥した屋内にラックを保管する。

⚠ 注意

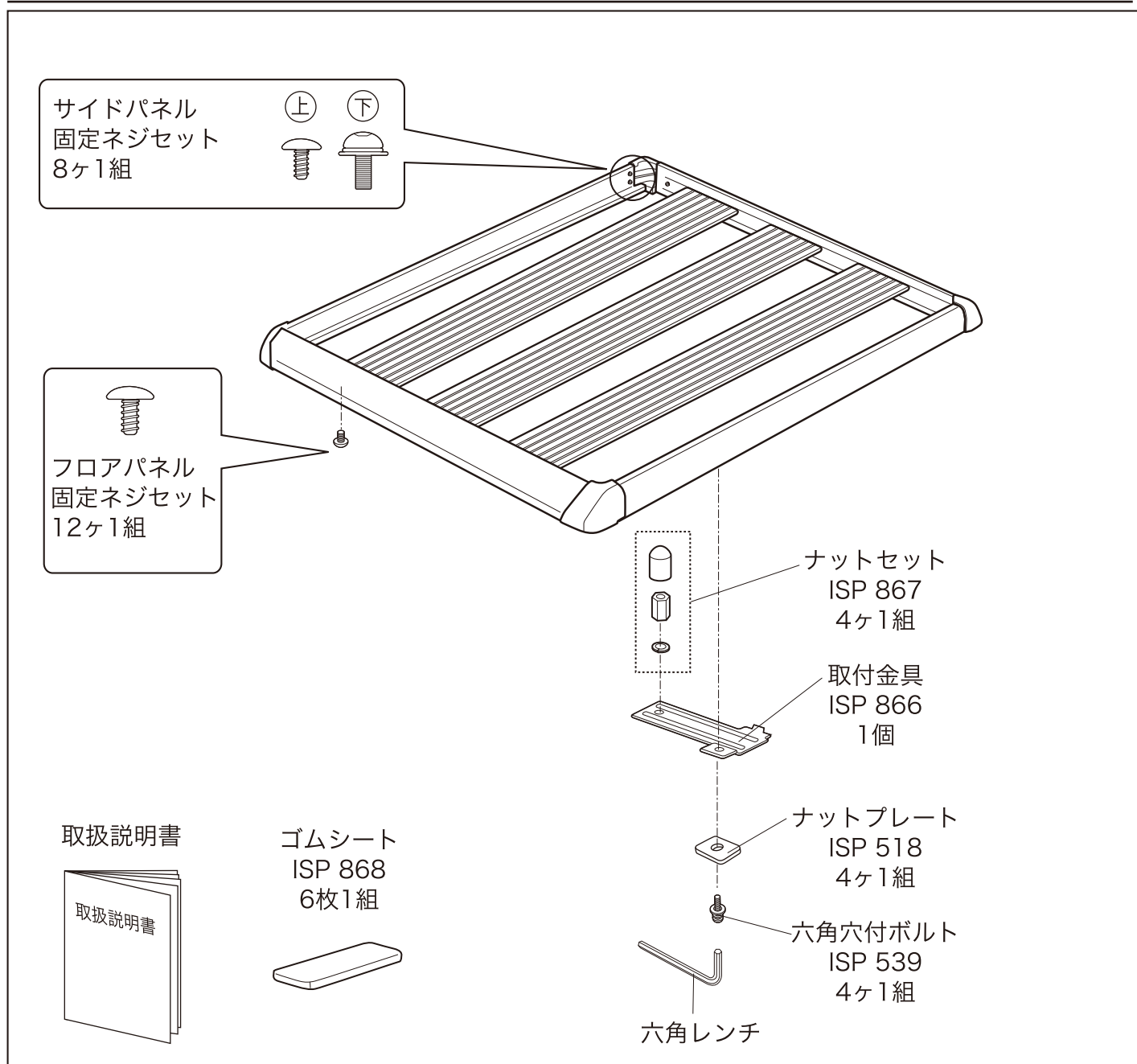
- ラックを使用しない時は、雨や紫外線などによるサビや劣化などを防ぐために、車両から外して保管してください。
- ボルトナット等の小物部品は、まとめてビニール袋に入れてアタッチメントといっしょに保管すると便利です。

純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際には、アタッチメントを購入された販売店にパーツまたはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

●本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。



お問合せ先

本品についてのご不満、ご要望、ご意見などがありましたら、下記の窓口にお問合わせください。なお、誤った取付けや使用、改造しての取付けや使用による事故などの責任は一切負いかねますのでご了承ください。

日本 お問い合わせ窓口：カーメイトサービスセンター JAPAN ONLY

ホームページ：<http://www.carmate.co.jp/support/>
TEL 03-5926-1212(代表) FAX 03-5926-1218

〒171-0051 東京都豊島区长崎5-33-11